



# 看護師 # 病院スタッフ募集  
# ダイビング # マリンスポーツ  
# 伊豆 # 伊東 # 海のある暮らし  
# スローライフ # 移住支援

#### —自己紹介をお願いします。

島根県出身のHです。看護師になって17年目になります。看護学校を卒業後、まずは岡山県の病院に就職しました。その後、一度別の職種で4年ほど働き、地元の島根に戻って再び看護師として勤務しました。応援ナースとしては、最初に奄美大島で1年半勤務し、その後沼津市で2年間働きました。現在は伊東市民病院で勤務しています。

#### —趣味は何ですか？

今一番の趣味はダイビングです。始めたのは3年前で、奄美大島に滞在していた頃になります。奄美に行った当初から潜っていたわけではなく、任期が終わる少し前に「やってみよう」と思い立ち、資格を取得しました。そこからしばらく奄美で潜り、その後は静岡の沼津に移ってから伊豆の海でも潜るようになりました。

#### —初めてのダイビングは奄美とのことですが、伊豆の海と比べてどうですか？

奄美大島の海は白い砂地にサンゴが広がっていて、まさに“南国のブルー”という明るく透明感のある海です。一方、伊東の海は外から見ると岩場のため少し暗く感じることもあります。実際に潜ってみると透明度が高く、水中はとて鮮やかで綺麗です。

#### —伊東市民病院に興味を持ったきっかけは？

静岡県の沼津で働き始めてから、この地域の雰囲気がとても好きになりました。応援ナースの募集情報をチェックする中で、伊東市民病院の名前が何度も目に入り、以前から気になる存在でした。さらに、ダイビング施設で伊東市民病院のポスターを見かけたときに、「あ、呼ばれているかもしれない」と感じて(笑)。その瞬間が決め手のひとつになり、応募を決めました。

地域の魅力発信

奄美で始まり 伊豆で深まる

—特別な時間、未知の体験—

### —伊東に来てからの生活はどうか？職場や暮らしの印象は？

働き始めてまだ3週間ほどなので、職場では覚えることも多く、慣れるのに必死というのが正直なところ。一方で、暮らしはとても快適です。宿舎には温泉があり、仕事終わりにゆっくり疲れを癒せるのも魅力です。街全体が静かで落ち着いていて、過ごしやすい環境だと感じています。食事はまだあまり開拓できていませんが、アジフライやアジのお刺身をいただきました。

### —印象に残っている海のエピソードは？

ウミガメを初めて見たときの感動は、今でも忘れられません。伊豆の海にウミガメがいるとは思っていませんでした。本当に驚きました。今では「またいた」と思うくらい(笑)よく遭遇します。1回のダイビングで2~3匹見ることもあるほどです。魚の群れも迫力があり、海の中にいるだけで幸せを感じます。

### —ダイビング以外の趣味はありますか？

ドライブや旅行も好きです。旅行先でダイビングをすることが多く、潜った後にその土地の観光を楽しむのが定番の過ごし方になっています。例えば、伊豆諸島の御蔵島では野生のイルカと一緒に泳いだことがありますし、奄美や沖縄にはクジラが子育てに訪れる1~3月の時期にホエールウォッチングにも行きました。こうして振り返ると、やっぱり海に関係した旅行が多いですね。

### —ダイビングが生活に与えている影響は？

海は私にとって完全に“リセットの場所”です。海に潜っている間は何も考えなくてよくて、仕事の疲れやストレスがずっと消えていきます。仕事が忙しくて生活とのバランスが崩れそうなときでも、「海に行けば頑張れる」「海でリセットして、また前向きになれる」と思わせてくれる、本当に大切な存在です。

### —伊東の良いところ・おすすめポイントは？

静岡や伊東は、山も海も近くにあり、食べ物もおいしく、人も温かい。とても住みやすい地域だと感じています。地域医療を学べる環境が整っているうえに、日々の暮らしも楽しめる場所です。実際に来てみると、この地域の魅力がきっと伝わると思います。ぜひ一度訪れてみてください。

### —Hさんにとって「海」とは？

海は“未知の世界”で、潜らなければ出会えない一瞬がたくさん詰まっています。その時その時にしか見られない景色や生き物との出会いがあり、まさに一期一会の世界です。そんな特別な体験を与えてくれる、私にとって海はとても偉大な存在です。

